

第1回新東名高速道路 高松トンネル施工技術検討会の

開催について(2022年2月14日)

中日本高速道路株式会社東京支社秦野工事事務所(神奈川県秦野市、所長・伊原泰之)は、2022年2月14日に、新東名高速道路 高松トンネル施工技術検討会(座長:西村和夫 東京都立大学理事)を開催しました。

検討会では、新東名高速道路高松トンネルの工事区間の一部で脆弱な地山等が出現したことを踏まえ、これまでに実施してきた調査、設計並びに施工などについて審議を行いました。

1. 議事要旨

(1) 検討会設置について

- ・検討会の座長は西村和夫(東京都立大学 理事)を選任。

(2) これまでの施工状況について

- ・当該トンネルは神縄断層の北側に位置しており、研究者により地層構成の解釈が異なるなど、非常に複雑な地層構成である。
- ・湧水は断層区間やトンネル天端から出ており、水位はトンネル位置より高い位置と想定、今後も断層や亀裂の状態など、地質の予測が難しく、残る掘削区間における湧水発生位置の特定は困難。

(3) 今後の進め方について

- ・切羽前方の水抜き及び地質状況の把握を目的にトンネル坑内からのボーリング調査を検討。また、調査ボーリングは長尺、短尺の組み合わせなどを検討。
- ・併せて、ボーリング以外の地質探査も検討。

以 上